

必修

科目コード	OG500	科目名	専攻科ゼミナール・修了論文		必修科目
担当教員	阿部 治、上田恵介、上田 信、黒木龍三、堀 耕治				
開講日程・時限	通年 木曜日・5時限	授業方式	対面	単位数	8単位
備考	専攻科必修科目・クラス指定				
授業の目標と内容	<p>文は人なり。リベラル・アーツでは、書くことが非常に重要です。書くとは考える、であり、書き直すとは考え直す、です。これは、生きることと同義でしょう。特に専攻科では、本科時の論文執筆の成果や反省を踏まえて、さらに知的能力の涵養、必要に応じた新たな視点の導入、視野の拡大、課題へのさらなる踏み込みが期待されます。論文とは、理想を言えば、真理を求めて「論」じてゆく「文」です。決して、調査の報告や、メモの集積ではありません。反対意見を紹介し反論するという、他者とのコミュニケーションも論文内で行われます。このため、専攻科の修了論文は、制限字数が大幅に増え、より有機的な構成が期待されますので、ゼミ・修了論文の単位数は、8単位となります。</p> <p>受講生は各々、本科時同様に、自分に関心あるテーマに関し、自主的探究を行います。本ゼミでその発表機会が与えられ、活発な質疑や議論がなされます。同時に、新たな知見や視点導入のため、未知の分野への挑戦も推奨されます。</p> <p>さらには、自主ゼミがあります。専攻科の自主ゼミは、受講生による受講生のための学習活動・野外活動です。これによって、ゼミ生同士の繋がりがさらに密になり、セカンドステージ大学修了後の活動にも活かされていきます。</p>				
授業計画	<p>授業計画は各ゼミで違いますが、共通の大きな目標が、各受講生の論文完成です。そのため、本ゼミでは、時々の報告（構想発表、中間発表、草稿発表など）を受け、質疑応答や議論が逐次、行われます。様々な問いや意見が出ますが、これが意見の違う人を納得させる行論の示唆となり、研究の更なる深化と発展に繋がります。各担当教員の助言も反映されます。論文の書式も、その遵守が求められます。他の視点や新しい視点を知るため、未知の分野への知的挑戦・知的冒険も行われます。担当教員が自分の専門分野を紹介することもあります。講義科目聴講での知見や、課外活動参加の経験なども、様々な形で論文に活かされます。</p> <p>自主ゼミは、本ゼミとほぼ同じ回数が予定されますが、読書会やディスカッションから、美術館訪問、古典芸能探訪などまで、特色ある独自の運営を受講生たち自身が立案・実行して、相互の知的刺激や新しい気づきに寄与しています。</p> <p>RSSCの学びと活動の集大成である修了論文を2度完成させて得る達成感は、格別です。これは、必ずや、修了後のセカンドステージ・ライフの糧となります。</p>				
成績評価方法	平常点および修了論文による総合評価				
教科書	『MASTER OF WRITING』立教大学 大学教育開発・支援センター発行(本科で配付済)				
参考図書	必要に応じてゼミナールにて紹介する				
その他 (HP 等)					